

日本の訓練／検定協力の取組等を少しでも多くの方にご理解いただくために、J-Skills Newsを発行します。

□活動対象4ヶ国で、2026年度の実施計画についての協議を実施

「技能評価システム移転促進事業（SESPP）」では、日本式技能検定のノウハウを海外に移転することを目的として、対象国において各種研修を実施しています。

事業の効果的・効率的な実施を図るため、本年度の活動対象国であるベトナムと5月26日(火)、カンボジアと6月2日(火)、インドネシアと6月23日(火)、ラオスと6月29日(月)に、各国政府人材開発部局や事業協力機関と厚生労働省及びSESPP事務局を中心に、当年度の実施計画についての協議を行いました。本年度は支援4か国全ての国で現地に於て対面での協議を実施し、活発な意見交換を行うことができました。

協議では研修・セミナー及びトライアルの対象職種・等級、参加者、スケジュール、事業の達成目標やその手順等の調整を行い、実施方針を決定しました。各国の実施方針とポイントは以下のとおりです。

【ベトナム】

- ・昨年度までと同様、ベトナムでは新政令第114号に基づきODA事業の政府内での承認手続きが必要となっており、手続きが複雑となり、かつ、承認までに長期間を要するため、ベトナム政府を通しての事業実施が困難な状況となっている。このため、南部のグエンタットタイン大学、ドンナイ大学、東部国際大学及び過去に育成した認定評価者などの協力のもと、業界検定として事業を推進することとした。
- ・機械製図CAD作業3級の2回目となる技能評価トライアル(SET)を実施する。
- ・シーケンス制御2級の技能評価トライアル(SET)及び技能評価者認定(SAC)を実施しゴールを目指す。

【カンボジア】

- ・情報配線施工の職業訓練技法研修(VTM)を行い、作業手順書作成を通じて参加者自身の指導力向上を図る。
- ・機械検査2級の1回目の技能評価トライアル(SET)を行う。

【インドネシア】

- ・平面研削盤作業2級の2回目の技能評価トライアル(SET)を実施する。
- ・インドネシアからの要望を受けて、金属プレス作業2級を本年度より開始し、技能評価者講習(SAT)と技能評価トライアル(SET)を実施する。



対象国協議の様子(ベトナム)



対象国協議の様子(カンボジア)



対象国協議の様子(インドネシア)

【ラオス】

- ・機械検査3級は、技能評価トライアル(SET)及び技能評価者認定(SAC)を実施し、認定評価者の誕生を目指す。
- ・配電盤・制御盤組立て作業2級の技能評価技法研修(SEM)と2回目の技能評価トライアル(SET)を行う。
- ・ラオス政府からの要望により、本年度より左官作業3級を開始し、技能評価者講習(SAT)を実施する。



対象国協議の様子(ラオス)

□ 2026年度の技能評価システム移転促進（SESPP）事業の実施計画

本年度は、ベトナム、カンボジア、インドネシア、ラオスにて以下の現地研修を予定しております。技能評価トライアル（SET）では、評価者向けの研修と労働者や学生を受検者とした模擬検定を実施します。トライアルへの参加、見学のご希望があれば、SESPP事務局までメールにてご連絡ください。ただし、機材の関係等で定員が限られております。ご希望にそえない場合がございますのでご了承ください。

セミナー・トライアル	実施時期	実施場所
■ ベトナム ・機械製図CAD作業3級 SET ・シーケンス制御2級 SET/SAC	10月22日(木)～10月26日(月) 1月15日(金)～1月19日(火)	東部国際大学 グエンタットタイン大学
■ カンボジア ・情報配線施工 VTM ・機械検査2級 SET	8月24日(月)～8月28日(金) 11月30日(月)～12月3日(木)	カンボジア国立ポリテク大学(NPIC) カンボジア国立ポリテク大学(NPIC)
■ インドネシア ・金属プレス作業2級 SAT/SET ・平面研削盤作業2級 SET	11月9日(月)～11月13日(金) 12月14日(月)～12月18日(金)	松下グローバル財団・ハitek金型センター(YMG/HTMC) 松下グローバル財団・ハitek金型センター(YMG/HTMC)
■ ラオス ・機械検査3級 SET/SAC ・配電盤・制御盤組立て作業2級 SEM/SET ・左官作業3級 SAT	9月14日(月)～9月18日(金) 11月9日(月)～11月13日(金) 2月22日(月)～2月26日(金)	技能開発院(SDI) 技能開発院(SDI) 技能開発院(SDI)

SAT : Skills Assessor Training（技能評価者講習） 技能検定試験を実施・運営する評価者を養成するセミナー

SEM : Skills Evaluation Method（技能評価技法研修）

基準と細目に基づく、学科・実技試験問題の作成と、実技試験の採点要領と実施要領の作成方法を学ぶ研修

VTM : Vocational Training Method（職業訓練技法研修）

標準作業書(作業手順書)の作成方法を学び、実践を通して技術を向上させ、弱点を克服する。

SET : Skills Evaluation Trial（技能評価トライアル）技能検定試験などを現地で試行的に実施

SAC : Skills Assessor Certification（技能評価者認定）

SETにおいて認定対象者を講師が一定の基準により評価し、基準を満たせば認定評価者として認定

□研修レポート

■カンボジアにおける職業訓練技法研修(情報配線施工)

昨年度まで、カンボジアにおいて技能競技大会セミナーとして、情報ネットワーク施工職種の支援を重ねてきました。本職種はゴールを迎えておりますが、本年10月に開催予定のカンボジア国内技能競技大会で同職種が初めて正式種目として実施されることとなり、カンボジア政府からの要請を受けて、競技運営委員の運営能力と指導力の更なる向上を図るため、職業訓練技法研修(VTM)を実施することとしました。

講師は、昨年度に引き続き、松本祥孝氏(関西職業能力開発促進センター)にご担当いただきました。VTMは2026年8月24日(月)～28日(金)の5日間でカンボジア国立ポリテク大学(NPIC)にて実施されました。本事業の指導対象である受講者8名(NPIC、国立技術訓練大学(NTTI)、プレコソマック・ポリテク大学(PPI))と各訓練校の出場選手3名の選手(学生)が参加し、更に政府関係者(労働職業訓練省基準カリキュラム部(MLVT・DSC))の立会いのもと実施されました。

松本専門家からは、『2025年8月下旬にフィリピンで開催された「WorldSkills ASEAN Manila 2025」において、初出場ながら期待以上の結果となった。一方、今後も継続的に技術力を向上させていくためには、指導者や選手が交代した場合においても、これまで培われた知識や技術を確実に継承できる仕組みを整えることが重要である。今回の現地研修では、OTDR(光パルス試験器)を用いた光ファイバーのトラブルシューティング技術及び作業手順書の作成について技術指導を行った。OTDR研修では、測定原理や各種設定、波形解析等の講義に加え、実習を通じて実践的な測定技術を習得するとともに、現地で継続活用できる実習教材を参加者と共同で作成した。また、実際の競技課題と評価結果を基に、作業上のポイントを整理した作業手順書を作成した。

これらの取組を通じて、指導内容の属人化を防ぎ、各校が主体的・継続的に訓練を実施するための基盤を整備することができた。』との講評をいただきました。

受講者からは、『メタルや光ケーブル等の部材をもっと支援してほしい。研修期間を延ばしてほしい。

他の職種も支援してほしい(希望職種：電気製図、空気圧装置組立て、シーケンス制御、情報配線施工、配管)。』等の意見が寄せられました。

本職種に関しては、技能競技大会セミナーで2021年度よりオンライン研修を1回(2021年度)、現地研修を6回(2022～2025年度)、本邦研修を2回(2022～2023年度)支援をしてきました。今後は受講者たちが自立的に本職種を実施・運営し、カンボジアに本職種が定着していくことが期待されます。



講師による指導風景



受講者による課題取組み風景



講師による指導風景

本年度は、ベトナムで2本、カンボジアで2本、インドネシアで2本、ラオスで3本の合計9本のセミナーやトライアルの実施を予定しております。本Newsを通じて、研修の様子、成果等をご紹介します。

■2025年度(令和7年度)日本の技能検定実施状況について

2025年度は667,393人が受検申請し、うち326,045人が合格して「技能士」の称号を手に入しました。創設当初からの合格者の累計は9,372,792人にのびります。2025年度は2024年度(令和6年度)と比較して受検申請者数が7.3%の減少、合格者数が0.1%の増加となりました。

2025年度を等級別にみると受検申請者が最も多かった等級は3級でした。職種別に見ると受検申請者が最も多かった職種は、ファイナンシャル・プランニングで、以下、機械保全、とび、知的財産管理、機械加工と続いています。

◆等級別の実施状況

等 級 (技能検定の合格に必要な技能及び知識)	受検申請者数 (2024年度比)	合格者数 (2024年度比)	合格率 (2024年度)
特級 (管理者又は監督者に必要な技能及び知識)	3,744人 (-13.8%)	1,299人 (-21.9%)	34.7% (38.3%)
1 級 (上級の技能労働者に必要な技能及び知識)	76,744人 (-3.3%)	26,970人 (+3.0%)	35.1% (33.0%)
2 級 (中級の技能労働者に必要な技能及び知識)	194,378人 (-28.6%)	70,512人 (-16.5%)	36.3% (31.0%)
3 級 (初級の技能労働者に必要な技能及び知識)	219,186人 (+9.3%)	132,191人 (+11.5%)	60.3% (59.1%)
単一等級 (等級に区分していない職種で、1級相当の技能及び知識)	3,004人 (+29.9%)	1,558人 (+27.6%)	51.9% (52.8%)
合計	497,056人	232,530人	—

※上記に加え、技能実習生を対象とした検定が有り(基礎級、随時3級、随時2級)、2025年度は170,337人が受検申請し、93,515人が合格しています。

◆受検申請者数の多い職種(全等級合計)

職種名	受検申請者数	2024年度比	合格者数	2024年度比
ファイナンシャル・プランニング	297,016人	-16.9%	129,669人	-2.1%
機械保全	31,534人	-2.4%	16,363人	+16.1%
とび	25,315人	+8.2%	14,279人	+2.0%
知的財産管理	20,030人	+4.0%	9,403人	+11.0%
機械加工	18,427人	-1.9%	10,155人	-2.5%

(参考)厚生労働省報道発表資料 https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_75458.html

発行：SESPP事務局(株式会社JTB 霞が関事業部)

『J-Skills News』に関するお問合せ

SESPP事務局 (株式会社JTB 霞が関事業部)

〒100-6051 東京都千代田区霞が関3-2-5 霞が関ビルディング23階
 TEL：+81-3-6737-9263 FAX：+81-3-6737-9266
 担当：近藤・加藤・岩下
 E-mail：sespp@jtb.com